有機農産物・有機飼料(農産)の生産行程管理者　認証申請確認シート

氏名又は名称：

ﾁｪｯｸ欄	書　類　名		
	申請書	A-1	有機農産物・有機飼料(農産)の生産行程管理者　認証申請書
		-	認証契約書（別紙）
		-	認証申請受理確認チェックシート
		A-2	経営概要及び組織図
		A-3	構成員リスト
		A-4	外注先リスト　※生産行程の一部を外注している場合
		-	委託契約書
	生産及び保管に係る施設	B-1	申請ほ場一覧
		B-2	申請ほ場及び施設の全配置図及び周辺状況
		B-3	申請ほ場水系図　※水田の場合
		B-4	申請ほ場毎図
		B-5	生産行程管理記録
		-	開拓地・遊休地等の使用禁止資材未使用の証明書　※開拓地・遊休地の場合
		-	生産計画書・小分け計画書（※他者が生産した農産物の受入れがある場合）
		C-1	生産・保管・小分けに係る施設一覧表
		C-2	生産・保管・小分けに係る施設毎図面（育苗施設以外）
		C-3	生産・保管に係る施設毎図（育苗）※申請ほ場以外で育苗を行う場合
	生産行程の管理又は把握の実施方法	D	内部規程（生産行程の管理または把握の実施方法）
		E-1	品目・種苗リスト
		E-2・3	小分けを行う品目毎の規格書（有機農産物・有機飼料（農産）） ※他者が生産した農産物の受入れがある場合
		-	受入先認証書　※他者が生産した農産物の受入れがある場合
		F	資材リスト（別表１、２、３、４、５、その他、育苗用土）
		-	資材証明書
		G	使用機械・器具リスト
		H	収穫及び受入れ以後の工程
	外注管理	外C-1	外注先施設一覧
		外C-2	外注先施設毎図面
		外F	外注先で使用している資材リスト　※資材証明書添付
		外G	外注先の使用機械・器具リスト
		外H	外注工程
	格付実施方法	I	格付規程（格付の実施方法）
	担当者	J	担当者名簿
		K	担当者の履歴書

A-1

年　　月　　日

特定非営利活動法人鹿児島県有機農業協会　理事長殿

認証申請書（有機農産物・有機飼料の生産行程管理者）

標記の件につき、貴協会の規程に基づき下記の項目を含む所定の書類を添えて申請します。

生産行程管理者の名称又は氏名	
組　織　形　態 （○をつける）	（　　）単独の取扱業者 （　　）取扱業者を構成員とするグループ又は法人
個人・法人の別 （○をつける）	（　　）個人 （　　）法人
代　表　者　名	
住　　所	〒
電　話　番　号	
携帯電話番号	
ファックス番号	
メールアドレス	（パソコン用メールに限ります）
格付を行おうとする農林物資の種類	(　　)有機農産物 (　　)有機飼料
当該農林物資の生産を行うほ場の名称及び所在地	（別紙記載）
認証の技術的基準に係る事項	（別紙記載）

認証申請受理確認チェックシート

認証申請を受理するにあたり確認が必要な事項です。以下の設問にお答えください。（該当する方の□に✔をご記入ください。）

1、認証取得の履歴

（1）過去に有機 JAS の認証を取得したことがありますか。
　　□はい　□いいえ

（2）（1）で「はい」と回答した方のみご記入ください。（複数ある場合はすべてご記入ください。）
　　認証取得日：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日
　　登録認証機関名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2、違反等の履歴

（1）過去に、格付の表示の除去若しくは抹消の命令に違反し、又は報告の求めを拒否し、若しくは虚偽の報告をし、若しくは立入検査を拒否し、妨害し、若しくは忌避したことにより、罰金以上の刑に処せられたことがありますか。【業務規程第24条（1）】
　　□はい　□いいえ

（2）（1）で「はい」と回答した方のみご記入ください。
　　違反の内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　　執行日：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日　※執行が終わった日から1年が経過していること。

（3）本会又は他の登録認証機関から認証を取消されたことがありますか【業務規程第24条（2）】
　　□はい　□いいえ

（4）（3）で「はい」と回答した方のみご記入ください。
　　取消しの理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　　取消し年月日：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日　※取消しから１年が経過していること。

（5）認証の取消しの日前30日以内にその取消しに係る認証生産行程管理者等の業務を行う役員でしたか。【業務規程第24条（3）】
　　□はい　□いいえ

（6）（5）で「はい」と回答した方のみご記入ください。
　　取消しの理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　　取消し年月日：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日　※取消しから１年が経過していること。

3、その他

（1）本会の規程に従っていただけますか。【業務規程第24条（4）】
　　□はい　□いいえ

（2）認証をみずから廃止したことがありますか。
　　□はい　□いいえ

（3）（2）で「はい」と回答した方のみご記入ください。
　　廃止の理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　　廃止年月日：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

（4）格付業務及びＪＡＳマーク貼付品の出荷の停止処分を受けたことがありますか。
　　□はい　□いいえ

（5）（4）で「はい」と回答した方のみご記入ください。
　　処分の理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　　処分を受けた年月日：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

上記の申告に虚偽はありません。

＿＿＿＿年＿＿月＿＿日
住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（平成２７年８月１７日付け２７鹿有協い－２２－０１）

A-2

経　営　概　要

法人又はグループの設立年月日	年　　月　　日			
申請ほ場**以外**の耕作ほ場	ほ場枚数	枚	ほ場面積	a
申請ほ場**以外**で栽培する作物	作　物　名　※	栽培面積	年間生産量	備考
		a		
		a		
		a		
		a		
		a		
		a		
		a		
		a		
		a		

※　作物名は、水稲・茶・大根・ポンカン等

組織図

（法人又はグループの場合のみ。（所属・役割・関係性等が分かるように））

A-3

年　　月　　日

構成員リスト

※取扱業者を構成員とするグループ又は法人の場合のみ提出。

構成員数	取扱業者数 件

取扱業者氏名	住所・連絡先	管理栽培場・施設の名称
作業者数　　人	TEL： FAX：	
作業者数　　人	TEL： FAX：	
作業者数　　人	TEL： FAX：	
作業者数　　人	TEL： FAX：	
作業者数　　人	TEL： FAX：	
作業者数　　人	TEL： FAX：	
作業者数　　人	TEL： FAX：	
作業者数　　人	TEL： FAX：	

A-4

年　　月　　日

外注先のリスト

※生産行程の一部を外注している場合のみ提出が必要です。

外注先氏名又は名称	外注先住所・連絡先	外注に使用する施設等の名称
	TEL： FAX：	
	TEL： FAX：	
	TEL： FAX：	
	TEL： FAX：	
	TEL： FAX：	
	TEL： FAX：	
	TEL： FAX：	
	TEL： FAX：	
	TEL： FAX：	

委託契約書

（委託者氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿（以下「甲」という。）と（受託者氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿（以下「乙」という。）は甲の有機農産物・有機飼料の生産工程の一部の外注について次の通り契約を締結する。

第１条　甲は、委託した工程において生じた異常等に関する処置又は指導を行い、乙は甲の処置又は指導に従う。

第２条　乙は、委託された工程を有機農産物・有機飼料の日本農林規格ならびに有機農産物・有機飼料についての生産行程管理者の認証の技術基準に基づいておこなう。

第３条　乙は、受託した工程で使用する施設及び機械器具を特定し、汚染防止策及び非有機農産物・非有機飼料の混合防止策を講じる。

２　甲は、前項の対策について書類及び実地で調査及び確認をすることができる。

第４条　甲が乙に委託する品目及び工程は、下記のとおりとする。

委託を行う品目：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

委託を行う工程：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

第５条　本契約における外注は、　　年　　月　　日から　　年　　月　　日までとする。ただし、本契約期間満了時において、契約を継続しない場合は、相手方に対し、本契約期間満了の１ヶ月前までに通知するものとする。本通知がなされない場合は、本契約は、同一の条件でさらに１年間自動更新されるものとし、その後も同様とする。

第６条　本契約に定めのない事項及び本契約の条項に関し疑義が生じたときは、甲乙誠意を持って協議し、これを解決する。

本契約締結の証として本書２通を作成し、甲乙記名押印の上、各１通を保有する。

＿＿＿年＿＿月＿＿日

甲（委託者）　住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

乙（受託者）　住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

B-1

年　　月　　日

申請ほ場一覧

ほ場番号	面積(a)	所在地	ほ場種類	有機管理開始年月日	特記事項又は耕作者名
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		
			田・畑 樹園地		

総枚数 **枚**	うち 有機ほ場 枚	うち 転換期間中 枚	**総面積** **a**	うち 有機ほ場 a	うち 転換期間中 a

★ほ場を集積する場合は、枝番号などを使用して、どのほ場が何番ほ場なのか、分かりやすく記載してください。ほ場の所在地は番地まで記載してください。またハウスなどの場合は、ハウス内だけでなく草刈り等管理している耕地全体の面積を記入してください。

B-2

年　　月　　日

申請ほ場及び施設全配置図（周辺状況）

ほ場番号　　～	施設番号　　～
周辺状況特記事項	

※目印となる建物や自宅、堆肥場、各施設などすべて記入し、位置関係や周囲状況が明確に分かるように記載すること。ほ場と施設の表示を区別すること。

※市販の地図を利用しての貼付、添付も可。

B-3

年　　月　　日

申請ほ場水系図（周辺状況）

※用水路、パイプライン等がある場合のみ提出が必要です。（市販の地図の流用も可）

※有機・転換期間中・慣行など、申請ほ場に影響のある他ほ場との水流方向、取水口、排水口など、水の動きなどの関係も明記してください。

B-4

年　　月　　日

申請ほ場毎図

ほ場番号		ほ場面積	a

隣接地の状況を記入ください。
- ●隣が慣行ほ場の場合、汚染防止策として１m以上緩衝距離があること。
- ●航空防除を実施しているほ場とは、有人ヘリの場合 100m以上、無人ヘリの場合６m以上緩衝距離があること。

※ただし、周囲の環境、条件等により適宜増減する。

隣接地との側面の記号	慣行・有機及び現況	緩衝距離	緩衝物（現況）
A		m	
B		m	
C		m	
D		m	
		m	

近隣の汚染源の有無やその他の特記事項記入欄

●近隣での航空防除
（　有　・　無　）
●有の場合
（有人ヘリ・無人ヘリ）
※有の場合は、航空防除ドリフト防止の証明書を添付すること。
※航空防除実施の飛行区域や飛行区域からの緩衝距離等の詳細を以下の図面内に記載すること。

※ほ場図には大きさ（ タテ○m × ヨコ△m ）を必ずご記入ください。

B-5

その（　　）

有機農産物・有機飼料（農産）の生産行程管理記録（ほ場ごと）

認証業者名		ほ場番号 No	面　積 a

年	月日	作物名	作業内容 （※1） 該当するものに○	使用種苗名 使用資材名	使用資材量 ・収穫量 （※2）	施設・機械・器具	
						名称	洗浄方法 該当するものに○
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、畝立、除草、施肥、収穫、その他（　　）		Kg・個・枚・（　）		水洗、掃き掃除ふき掃除、風洗他（　　）

◎新規申請又は追加申請の場合で、栽培している作物が多年生作物の場合は約３年分、
　多年生作物以外の作物の場合は約２年分の記録を提出すること。

※１：作業内容には、耕耘、施肥、播種から収穫、輸送・選別・調製・洗浄・貯蔵・包装その他の収穫以後の該当する
　　工程を記入すること。

※２：収穫量は、他に日々の記録があれば記入しなくてもよい。

※４：牧草に関しては収穫前２年以上有機管理であればよい。

開拓地・遊休地等の使用禁止資材未使用の証明書

下記のほ場は、開拓され又は耕作の目的に供されておらず、周辺から「有機農産物の日本農林規格」に定められた使用禁止資材を下記期間中使用していないことを証明します。

年　　月　　日

氏名又は名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電 話 番 号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記

１　所在地及び面積

２　使用禁止資材未使用の期間

年　　月　　日　から　　年　　月　　日まで

以上

生 産 計 画 書

年　　月　　日

（凡例）　○・・播種　●・・基肥
△・・定植　▲・・追肥　★・・防除
□・・収穫　■・・保管　☆・・（　　）

（　　年　　月 ～　　年　　月）

ほ場番号	作 物 名	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	摘 要

年　月　日

小分け計画書（　　年度 ）

★小分け計画

品目または製品	仕入れ先	小分け数量（ｋｇ）	出荷先

★作業計画

作業内容	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	備考
小分け作業													

C-1

年　　月　　日

生産・保管・小分けに係る施設等一覧表

※生産から出荷までの行程に使用する全ての施設を記入してください。

※用途例：堆肥作り、育苗、機械倉庫、保管（冷蔵・貯蔵等）、調整（袋詰め、洗い、カット等）、格付、籾摺精米、荒茶製造など

施設番号	施設名称	施設住所	面積	用途	使用形態	所有形態	清掃方法
			㎡		有機専用 慣行併用	自　己 共　用 外　注	
			㎡		有機専用 慣行併用	自　己 共　用 外　注	
			㎡		有機専用 慣行併用	自　己 共　用 外　注	
			㎡		有機専用 慣行併用	自　己 共　用 外　注	
			㎡		有機専用 慣行併用	自　己 共　用 外　注	
			㎡		有機専用 慣行併用	自　己 共　用 外　注	
			㎡		有機専用 慣行併用	自　己 共　用 外　注	
			㎡		有機専用 慣行併用	自　己 共　用 外　注	
			㎡		有機専用 慣行併用	自　己 共　用 外　注	
			㎡		有機専用 慣行併用	自　己 共　用 外　注	

C-2

年　　月　　日

生産・保管・小分けに係る施設毎図面（育苗施設以外）

施設名称	有機専用　・　慣行併用	施設番号

※1　施設内の設備や機械などの位置、内部状況が分かるように記入すること。
　2　慣行併用の場合は、区分状況が分かるように記入すること。
　3　大きさ（　タテ○m　×　ヨコ△m　）を記入すること。

C-3

年　　月　　日

生産・保管に係る施設毎図面（育苗場所）

【認証ほ場以外で育苗を行う場合】

育苗施設住所		面積	a

隣接地の状況を記入ください。
- ●隣が慣行ほ場の場合、汚染防止策として１m以上緩衝距離があること。
- ●航空防除を実施しているほ場とは、有人ヘリの場合 100m以上、無人ヘリの場合６m以上緩衝距離があること。

※ただし、周囲の環境、条件等により適宜増減する。

隣接地との側面の記号	慣行・有機及び現況	緩衝距離	緩衝物（現況）
A		m	
B		m	
C		m	
D		m	
		m	

近隣の汚染源の有無やその他の特記事項記入欄

●近隣での航空防除
（ 有 ・ 無 ）
●有の場合
（有人ヘリ・無人ヘリ）
※有の場合は、航空防除ドリフト防止の証明書を添付すること。
※航空防除実施の飛行区域や飛行区域からの緩衝距離等の詳細を以下の図面内に記載すること。

※図面には大きさ（ タテ○m × ヨコ△m ）を必ずご記入ください。

D

年　　月　　日

内　部　規　程　（生産行程の管理又は把握の実施方法）

1	生産行程の管理又は把握に関する計画の立案及び推進について
2	外注に関する行程の管理又は把握に関する計画の立案及び推進（外注先選定基準、外注内容、外注手続き等）について
3	生産行程に生じた異常等に関する処置又は指導について
4	種子、苗等の入手に関すること
5	種子の殺菌（スプラウト類を栽培施設で生産する場合）に関すること
6	肥培管理・栽培管理に関すること
7	有害動植物の防除に関すること
8	一般管理及び育苗管理に関すること

9	生産・小分けに使用する機械及び器具に関すること
10	収穫、受入れ、輸送、選別、調製、洗浄、貯蔵、包装その他の収穫及び受入れ以後の工程に係る管理に関すること
11	生産行程の管理又は把握に係る記録の作成並びに当該記録及び当該記録の根拠となる書類の保存期間に関すること
12	苦情処理に関すること
13	年間の生産計画の策定及び認証機関への通知に関すること
14	生産行程の管理又は把握の実施状況についての認証機関による確認等の業務の適切な実施に関し必要なこと
15	内部規程の見直しと周知に関すること
16	その他

E-1

年　月　日

品目・種苗リスト

※□には☑をしてください。

作物名	入手形態	入手先	組換 DNA 技術使用の有無	持続的効果がある資材使用	種苗の生産方法	非有機の場合の理由	飼料や緑肥の場合
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用
	□種 □苗	□自家採種 □購入 □委託生産	□無し □有り □不明	□無し □有り □不明	□有機栽培 □禁止資材不使用 □慣行栽培	□入手困難 □品種更新	□飼料用 □緑肥用

※自家育苗の場合は、育苗記録（培土を含む）を提出のこと。

※有機種苗の場合は、証明書を保管してください。実地調査時に確認します。

E−2

年　　月　　日

小分けを行う品目毎の規格書（有機農産物）

有機農産物の小分けを行う方は、記入ください。

※包装資材名は「袋（ほうれん草用１２号）」などと具体的に記載してください。

品目名（野菜等の名称）				
小分けする農産物の生産者	生産者名（格付の表示を付した者）		認証機関名（略称も可）	
荷姿と表示 ※内容が同じ製品でも荷姿が異なるものは全て記入してください。 ※表示サンプルを添付してください。	包装資材名	内容量	ＪＡＳマーク表示	表示
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）

品目名（野菜等の名称）				
小分けする農産物の生産者	生産者名（格付の表示を付した者）		認証機関名（略称も可）	
荷姿と表示 ※内容が同じ製品でも荷姿が異なるものは全て記入してください。 ※表示サンプルを添付してください。	包装資材名	内容量	ＪＡＳマーク表示	表示
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）

品目名（野菜等の名称）				
小分けする農産物の生産者	生産者名（格付の表示を付した者）		認証機関名（略称も可）	
荷姿と表示 ※内容が同じ製品でも荷姿が異なるものは全て記入してください。 ※表示サンプルを添付してください。	包装資材名	内容量	ＪＡＳマーク表示	表示
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）

E−3

年　　月　　日

品目毎の規格書（有機飼料(農産)）

有機飼料（農産）の小分けを行う方は、記入ください。

※包装資材名は「単味飼料（飼料用大豆・とうもろこしなど)」と具体的に記載してください。

品目名（飼料の名称）				
小分けする飼料の生産者	生産者名（格付の表示を付した者）		認証機関名（略称も可）	
荷姿と表示 ※内容が同じ製品でも荷姿が異なるものは全て記入してください。 ※表示サンプルを添付してください。	包装資材名	内容量	ＪＡＳマーク表示	品質表示
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）

品目名（飼料の名称）				
小分けする飼料の生産者	生産者名（格付の表示を付した者）		認証機関名（略称も可）	
荷姿と表示 ※内容が同じ製品でも荷姿が異なるものは全て記入してください。 ※表示サンプルを添付してください。	包装資材名	内容量	ＪＡＳマーク表示	品質表示
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）

品目名（飼料の名称）				
小分けする飼料の生産者	生産者名（格付の表示を付した者）		認証機関名（略称も可）	
荷姿と表示 ※内容が同じ製品でも荷姿が異なるものは全て記入してください。 ※表示サンプルを添付してください。	包装資材名	内容量	ＪＡＳマーク表示	品質表示
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）
			シール・印刷 その他（　　）	シール・印刷 その他（　　）

F

年　　月　　日

投入資材リスト

氏名・名称

1　肥料及び土壌改良資材（別表１）　※資材証明書の添付が必要です。

肥料又は土壌改良資材の名称	製造者名	使用目的	証明書の有無	保管している資材証明書の証明年月日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日

２　農薬・薬剤（別表２、４）

農薬名称	農薬の種類	製造者名	使用目的（対象作物・対象病害虫）

３　調整用等資材（別表５）　※資材証明書の添付が必要です。

調整用等資材の名称	製造者名	使用目的	証明書の有無	保管している資材証明書の証明年月日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日

４　施設資材・被覆資材等のその他資材（マルチやバロン他シーダーテープ等）

資材名	使用状況	使用後の処分方法	備考

５　育苗用土　※資材証明書の添付が必要です。

育苗用土の名称	製造者名	証明書の有無	保管している資材証明書の証明年月日
		有・無	年　月　日
		有・無	年　月　日
		有・無	年　月　日
		有・無	年　月　日
		有・無	年　月　日

有機ＪＡＳ適合証明書

ふりがな
製品名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

肥料の種類＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

肥料登録番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿号　又は　□肥料登録無し

登録有効期限＿＿＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日

当社の本製品は、別紙のとおり製造されたものであり、有機農産物の日本農林規格別表１の基準を満たす資材であることを証明します。

１、すべての原材料（造粒剤・乳化剤・酸化防止剤・加工助剤等補助的に添加するものを含む）が、別表１の肥料及び土壌改良資材に該当するものであり、かつ、それぞれの基準を満たしています。（ただし育苗に用いる用土の原土の場合は、過去２年以上の間、周辺から使用禁止資材が飛来又は流入せず、かつ、使用されていない一定の区域で採取され、採取後においても使用禁止資材が使用されていない土壌のみを用いています）

２、１の基準を満たす原材料を用いて本製品を製造する工程において、化学的に合成された物質を添加していないと共に、化学的な工程を経ていません。

３、本製品では下記条件に該当する微生物資材及び酵素は使っていません。

１）組換えＤＮＡ技術を用いて製造した微生物及び酵素。

２）微生物の培養が終わった後に別表１に適合しない資材を添加した微生物資材。

添付書類：□別紙製造工程図　□別紙原材料リスト

証明日＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日

有効期限＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日

証明者

氏名・名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

住　　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＦＡＸ番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Ｅメール＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※社印または責任者印（担当者）印を必ず押してください。

製造工程図

原材料から、製品になるまでの製造工程をお書きください。その際、溶剤(ヘキサンを含む)・造粒剤・乳化剤・酸化防止剤・凝集剤・防腐剤・加工助剤等、製造工程上用いるものはすべて記載してください。工程名だけでわかりにくい場合は、具体的に何をしている工程なのかがわかるように書いてください。既存の工程図がある場合は添付してください。その場合も、溶剤等用いたものが別途ある場合は書き加えてください。

原材料

原材料名	該当する 別表１の資材名	左記基準適合の確認先	証明書 添　付
			□ 有 □ 無
			□ 有 □ 無
			□ 有 □ 無
			□ 有 □ 無
			□ 有 □ 無
			□ 有 □ 無
			□ 有 □ 無
			□ 有 □ 無

＜要確認事項＞　以下の事項について証明書に明記する必要があります。

1　外部から導入する鶏糞、牛糞、豚ぷんについては畜産農家に対して、
　排せつ物となって以降殺虫剤、凝集剤が使用されていないことの確認。
　敷料については建築廃材を原材料としていないことの確認。

2　魚粕等については酸化防止剤が使用されていないことの確認。

G

年　　月　　日

使用機械・器具リスト

機械・器具名	使用形態	所有形態	併用時の洗浄・清掃方法	備考
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		
	有機専用 慣行併用	個人・共同 借用		

H

年　　月　　日

収穫及び受入れ以後の工程

※葉物、根菜、果菜など、工程が同じ品目はまとめてください。

収穫及び受入れ以後出荷までの工程（輸送・選別・調製・洗浄・貯蔵・包装・保管・格付その他）について、場所・施設や資材・機械・器具などを明確に記入してください。

品　目　※					
順番	作業工程	場所・施設	資材・機械・器具	担当者	混合・汚染防止策 使用薬剤など

外 C-1

年　　月　　日

外注先施設等一覧表

※外注している工程に使用する全ての施設を記入してください。

※用途例：堆肥作り、育苗、機械倉庫、保管（冷蔵・貯蔵等）、調整（袋詰め、洗い、カット等）、格付、籾摺精米、荒茶製造など

施設番号	施設名称	施設住所	面積	用途	使用形態	清掃方法
外			㎡		有機専用 慣行併用	
外			㎡		有機専用 慣行併用	
外			㎡		有機専用 慣行併用	
外			㎡		有機専用 慣行併用	
外			㎡		有機専用 慣行併用	
外			㎡		有機専用 慣行併用	
外			㎡		有機専用 慣行併用	
外			㎡		有機専用 慣行併用	
外			㎡		有機専用 慣行併用	
外			㎡		有機専用 慣行併用	

外 C-2

年　　月　　日

外注先施設毎図面

施設名称	有機専用　・　慣行併用	施設番号

※1　施設内の設備や機械などの位置、内部状況が分かるように記入すること。
　2　慣行併用の場合は、区分状況が分かるように記入すること。
　3　大きさ（　タテ○m　×　ヨコ△m　）を記入すること。

「生産・保管に係る施設毎図面（育苗施設以外）」と同じように記入する。

外Ｆ

年　　月　　日

外注先で使用している資材リスト

氏名・名称

１　肥料及び土壌改良資材　※資材証明書の添付が必要です。

肥料又は土壌改良資材の名称	製造者名	使用目的	証明書の有無	保管している資材証明書の証明年月日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日

２　農薬

農薬名称	農薬の種類	製造者名	使用目的（対象作物・対象病害虫）

３　調整用等資材　※資材証明書の添付が必要です。

調整用等資材の名称	製造者名	使用目的	証明書の有無	保管している資材証明書の証明年月日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日
			有・無	年　月　日

４　施設資材・被覆資材など

資材名	使用状況	使用後の処分方法	備考

外Ｇ

年　　月　　日

外注先で使用している使用機械・器具リスト

機械・器具名	使用形態	併用時の洗浄・清掃方法	備考
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		
	有機専用 慣行併用		

外Ｈ

年　　月　　日

外注工程

※外注先毎に場所・施設や資材・機械・器具などを明確に記入してください。

品　目　※					
順番	作業工程	場所・施設	資材・機械・器具	担当者	混合・汚染防止策 使用薬剤など

I

年　　月　　日

格　付　規　程

（格付の実施方法）

1	生産行程についての検査に関すること
2	格付の表示に関すること
3	格付後の荷口の出荷又は処分に関すること
4	出荷後に有機農産物・有機飼料の日本農林規格に不適合であることが明らかとなった荷口への対応に関すること
5	格付に係る記録の作成及び保存に関すること
6	格付の実施状況についての認証機関による確認等の業務の実施に関し必要なこと
7	名称表示の確認に関すること
8	その他

J

年　　月　　日

担当者名簿

生産行程管理責任者及び生産行程管理担当者

担当	氏名	講習会修了証番号
生産行程管理責任者		
生産行程管理担当者		

格付責任者及び格付担当者

担当	氏名	講習会修了証番号
格付責任者		
格付担当者		

※上記担当者は農業・飼料生産に係る学歴・経歴を記した履歴書を必ず添付すること。
※生産業者を構成員とするグループ又は法人及び販売業者の場合は、生産者名簿及び組織図を添付すること。

K

履　歴　書

年　　月　　日現在

（ふりがな） 氏　名		
認証業者名		
年	月	学歴　・　職歴（※）

※学歴は最終学歴を、職歴は農業・飼料生産または農業・飼料生産に関する指導・調査若しくは試験研究に従事した経験が分かるようにご記入ください。

＜生産行程管理担当者または格付担当者の資格要件＞

①学校教育法による大学で農業生産に関する授業科目の単位を取得して卒業した者又は同等以上の資格を有する者であって、農業生産又は農業生産に関する指導、調査若しくは試験研究に1年以上従事した経験を有するもの

②学校教育法による高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は同等以上の資格を有する者であって、農業生産又は農業生産に関する指導、調査若しくは試験研究に２年以上従事した経験を有するもの

③農業生産又は農業生産に関する指導、調査若しくは試験研究に３年以上従事した経験を有するもの